

「現代臨床心理学の必須技能」ワークショップ

日 程：2012 年 11 月 17 日 (土)・18 日 (日)

会 場：東京大学本郷キャンパス

申込方法：

日本心理臨床学会・特別課題研究班サイト (<http://cp-japan.net/>) からお申込み下さい

参加費用：2,000 円 (2 日間)

※当日受付はございませんので、ご注意下さい。

参加者は、「臨床心理士の資格更新」のための研修ポイントを取得できます！

ワークショップのテーマは、以下の 6 つのセッションに分類されます。

社会臨床のセッション

精神医療臨床のセッション

臨床研究のセッション

発達臨床のセッション

認知行動療法のセッション

新世代認知行動療法のセッション

➡ それぞれのセッションのワークショップについては、**裏面** をご覧下さい

主催者挨拶

日本心理臨床学会の特別課題研究班では、「心理職は何を学び、どのような技能を習得しなければならないか」をテーマとし、アンケート調査などによって示された、臨床現場で必要とされる技能研修会を行います。参加者のご意見を参考に「これからの臨床心理学に必要なカリキュラム」の開発を進めていきます。ぜひ、多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日本心理臨床学会・特別課題研究班 班長 下山晴彦

【お問い合わせ先】 東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース 下山研究室
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 event12a@korerin.jp

プログラム内容

社会臨床のセッション

多職種協働における臨床心理職のリーダーシップと役割
(随時通訳付)

英国オクスフォード大学 臨床心理学 教授 Susan Llewelyn

臨床現場で倫理を活用するために

明治学院大学心理学部 教授 金沢吉展

心理職のためのコンサルテーション・リエゾンの理論と実際

三井記念病院 精神科部長 中嶋義文

現場で家族療法を活用するために

東京大学大学院教育学研究科 教授 中釜洋子

臨床研究のセッション

うつ病と不安障害を理解するための認知行動理論

東京大学大学院総合文化研究科 教授 丹野義彦

臨床心理学の量的研究法入門ー研究立案のためのガイド

東京大学大学院教育学研究科 教授 南風原朝和

臨床心理学における質的研究法入門ーナラティブからモデル生成へ

東京大学大学院教育学研究科 教授 能智正博

心理職のための調査研究法入門ー研究実施の際の実際問題

東京大学大学院教育学研究科 専任講師 石丸径一郎

認知行動療法のセッション

リラクセーションの基礎と実施

上越教育大学大学院臨床心理学コース 教授 五十嵐透子

認知行動療法におけるアセスメントと見立て(ケースフォーミュレーション)

関西学院大学文学部総合心理科学科 教授 松見淳子

認知行動療法を臨床現場で活用するために

原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長 原田誠一

現場で子どもの認知行動療法を活用するために

東京都スクールカウンセラー 松丸未来

(現場で) エクスポージャー技法を活用するために

新潟大学人文社会・教育学系 教授 神村栄一

各セッションの日時については、日本心理臨床学会
特別課題研究班サイト (<http://cp-japan.net/>) 内の
『プログラム内容・日程表』をご確認下さい。

本ワークショップと同時並行で「第30回日本森田療法学会」
(<http://the30th-moritatherapy.jp/>) を開催しています。組み
合わせてお申込み頂きますと学会参加費が半額になります。

精神医療臨床のセッション

身につけておきたい精神医学の診断と薬物療法の基本

日本医科大学 心理学教授 野村俊明

心理面接・社会生活サポートに役立つ睡眠の知識

公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野
睡眠研究プロジェクトプロジェクトリーダー
本多 真

心理職のための性同一性障害の理解と治療

はりまメンタルクリニック 院長 針間克己

心理職のための境界性パーソナリティ障害の理解と治療

東京都立松沢病院精神科 部長 林 直樹

心理職のための自傷行為の理解と援助

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター 副センター長
松本俊彦

発達臨床のセッション

発達障害の診断と治療

東京都立小児総合医療センター 市川宏伸

心理職のための子どものチック障害及び強迫性障害の理解と治療

東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻統合脳医学講座
こころの発達医学分野 准教授
金生由紀子

発達障害のアセスメントーWechsler 知能検査を中心に

東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座 准教授 松田 修

発達臨床現場で応用行動分析を活かす

慶應義塾大学文学部 教授 山本淳一

老年期の心理臨床ー認知症のアセスメントと支援

慶成会老年学研究所 研究員 松澤広和

新世代認知行動療法のセッション

アクセプタンス&コミットメントセラピー (ACT) 入門
(随時通訳付)

米国 ポートランド心理療法臨床・研究・訓練センター 部長 Jason Luoma

マインドフルネス認知療法ー理論的背景と主要技法

早稲田大学文学学術院 教授 越川房子

新世代の認知行動療法

ー行動活性化療法とアクセプタンス&コミットメントセラピー (ACT) を中心に
早稲田大学人間科学学術院 教授 熊野宏昭

弁証法的行動療法の日本での可能性

ー境界性パーソナリティ障害などの感情調節困難のための認知行動療法
長谷川メンタルヘルス研究所 所長 遊佐安一郎

「慢性疾患」を抱えるクライアントのための
アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT)

同志社大学心理学部 教授、実証に基づく心理トリートメント研究センター センター長
武藤 崇